

「仏教に関する実態把握調査」

(二〇一九年度) ③

日本テンプレヴァン(株)井上拓郎

「菩提寺への訪問状況・満足度」

昨年、公益財団法人全日本仏教会(全仏)と大和証券株式会社が共同で行いました「仏教に関する実態把握調査(二〇一九年度)」の報告書につきまして、前号に続きましてご紹介致します。(報告書は全仏のホームページにも掲載されております)

●菩提寺への訪問状況

(菩提寺のある方を対象)

菩提寺へ訪問する理由として最も多かったのは、お墓参りに併せての訪問で、仏教信者は四九・七%、一般の方で三八・四%でした。次に多かった訪問理由はお盆で仏教信者が四八・六%、一般の方で三四・二%でした。この統計は訪問回数一回以上の回答をパーセンテージで表したものになります。が、仏教信者でもお盆の時期に菩提寺へ行かない方が五一・四%いる事が分かります。お盆の時期にお墓参りで菩提寺にきてもご本尊さまに礼拝しない方が一定数いることとなります。また菩提寺と居住地の距離(移動時間)でみたときに、三〇分以内と二時間超と比べた場合、距離が近いほうが訪問の頻度が高い傾向にありました。菩

提寺との距離が遠い方は、実質的に菩提寺に伺う機会を減らしてしまっているのだと思います。

●菩提寺への満足度

菩提寺へ満足をしている方(十分満足している、やや満足している)の割合は、仏教信者で六三・六%、一般の方でも四七・六%おりました。一方、どちらともいえないと回答した方は一般の方で四三・九%、仏教信者でも三〇・九%おり、一定の割合で菩提寺に無関心な方がいるということになります。また菩提寺との距離(移動時間)が二時間を超える方は、二時間以内で伺える方に比べて、十分満足している方の割合が、若干減少している傾向にありました。その要因としては菩提寺との距離が遠いとコミュニケーションの手段が限られてしまうからではないかと思えます。

●今後の菩提寺との付き合い方

菩提寺と、現在と変わらず良い関係で付き合い合えると思うと回答した方の割合は、仏教信者で五七・九%、一般の方で三五・八%でした。反対にこれからは付き合いが減少すると思うと回答した方は仏教信者で三九・〇%、一般の方では最も割合が高い五一・四%となっておりました。また菩提寺との距離で比較した場合には、遠くなればなるほど、付き合いが減少すると思うと回答す

る割合が高くなりました。

「菩提寺での葬儀予定、菩提寺へのこだわり」

菩提寺へのこだわり

●菩提寺での葬儀予定

菩提寺で自分自身の葬儀を行う予定と回答した方は、仏教信者が五一・七%と最も割合が高く、一般の方で最も高かったのは、仏教式葬儀にこだわらない五〇・〇%でした。仏教信者も一般の方も、親族の葬儀に関しては、菩提寺で葬儀を行う予定と回答した割合が高く、自分自身の葬儀はこだわらないが、親族の葬儀では慣習やしきたりを尊重し、菩提寺で葬儀を行うべきと考えの方が多いのだと思えます。

●菩提寺、宗派、住職、お墓へのこだわり
こだわりの関する回答で最も割合が高かったのは、家系のお墓四九・二%でした。反対にこだわりのないと回答した方の割合で一番高かったのは、菩提寺住職六七%でした。菩提寺住職にこだわりがあると回答した方が三三%なのに対して、菩提寺にこだわりがあると回答した方は四〇・五%おり、数字だけみると住職よりも菩提寺へのこだわりのほうが高いこととなります。皆さんはこの数字どう思われますか。

出典「仏教に関する実態把握調査」

(二〇一九年度)

(公財)全日本仏教会、大和証券(株)